

第1期接種率95%達成の要因または達成の課題

①～⑦

区市町村名	接種率	達成の要因または課題							課題の背景、独自の取組等	備考
		①個別通知の時期・回数	②個別通知の内容	③個別通知の手段	④その他情報発信の時期・回数	⑤その他情報発信の内容	⑥その他情報発信の手段	⑦接種日・時間の拡大		
1 千代田区	92.0									
2 中央区	93.9									
3 港区	90.8			○				マイナンバー法に基づく運用の徹底	③都心区ならではの課題として、勤奨対象者の住民登録と居住の実態との差異により、個別勧奨物が対象者の手に届かないという現状がある。電話相談などで発覚した場合には是正を求めています。港区では接種率の向上にはさほど期待できない。 ①自費で接種を受けた場合、区では接種記録を把握できないために見かけ上接種率が低くなる場合が多々ある。港区では対象者の転入が多いことから、従来より見かけ上接種率が低くなる傾向にある。接種情報はすべて中間サーバーで管理し、転入自治体が過去の予防接種記録を入手してカウントするよう、コロナワクチンのVRSと同一の運用として欲しい。	①予防接種にかかるシステム標準化仕様書第1版では、デジタル庁がVRSを活用した情報連携を標準と位置付けているのを無視しているため、改善が期待できない。厚生労働省に接種率の向上のために正確で迅速なデータ連携が必要ことを伝えて欲しい。
4 新宿区	95.7									
5 文京区	95.5									
6 台東区	93.3							対象者の転入に伴うもの	①あと11人の接種で目標達成であったことを踏まえると、対象者が他自治体で接種を終えて転入した場合は当区の接種率向上に寄与しないことが目標達成の原因の一つと考える。	
7 墨田区	96.6									
8 江東区	89.7									
9 品川区	94.4									
10 目黒区	94.1			○					④広報誌への掲載は、掲載の時期・回数が他の記事との調整になるため、希望どおりに実施することが難しい。	
11 大田区	95.4									
12 世田谷区	95.1									
13 渋谷区	93.7								⑥他の有効的な情報発信方法の検討	
14 中野区	95.4									
15 杉並区	95.2									
16 豊島区	95.6									
17 北区	96.7									
18 荒川区	95.4			○					③区内協力医療機関で、1歳から1歳3か月未満の間に麻しん風しん第1期を接種した者を対象に、身長と体重を計測する1歳児プチ健診を実施しており、接種予診票と併せて健診受診票を送付している。	
19 板橋区	93.5									
20 練馬区	91.1								⑤保健相談所での検診時に、接種勧奨を行っている。	
21 足立区	90.9							期限切れに対する任意制度	①期間が一年間しかないため、接種を忘れてしまい期限が切れてしまったと区民から問合せをいただくことがある。期限が過ぎた場合は、任意公費助成制度を利用してもらい、区民の負担なく接種ができるよう取り組んでいる。	①任意公費助成制度は定期接種ではないため、定期接種の接種件数に計上できなくなる。
22 葛飾区	93.5									
23 江戸川区	97.5									
24 八王子市	98.1	○							①新たに接種対象となる月齢の子と2か月後に接種期間が終了となる月齢の子に毎月個別通知を送付している。	
25 立川市	92.6									
26 武蔵野市	94.3							新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え	①ホームページや市報、SNSで控えないう呼び掛けている。	
27 三鷹市	92.9									
28 青梅市	107.9			○					③1歳6か月検診の際、予防接種履歴を必ず確認し、MR第1期未接種の方に対し接種を行うよう一斉掛けを行った。	
29 府中市	95.6								⑥予防接種モバイルサービスの登録者へ希望日(1ヶ月前・1週間前・前日・当日・翌日)にメールにてスケジュール通知をしている。	
30 昭島市	95.5									
31 調布市	92.3									
32 町田市	91.2							新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え		
33 小金井市	89.8									
34 小平市	98.3									
35 日野市	95.5							新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え	①ホームページで予防接種は不要不急の外出ではないことを記載はしているが、保護者からは心配の声が上がっており、接種率低下の一因となっている。	① <a href="https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/anzen/covid-19/1014184/1014360.html">https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/anzen/covid-19/1014184/1014360.html</a>
36 東村山市	83.3									
37 国分寺市	96.1								⑥接種忘れを防止するため、1歳半健診でチラシを配布し、子育て支援アプリで対象年齢のお子さまがいる方へプッシュ通知を送る。	
38 国立市	86.2									
39 福生市	89.5									
40 狛江市	95.6									
41 東大和市	95.6									
42 清瀬市	99.2							未接種者に対する勧奨個別通知	⑥4月に市報にて健康特集号にて予防接種全般を記載することで発信 ①転入者については、同課の助成係(子の医療券発行部署)の手続きと同時に予防接種担当窓口にご案内頂くことを徹底して頂いている。立ち寄りがない場合、保護者の電話番号を確認し、直接保護者に電話をして来庁を促す。また、対象者に未接種勧奨個別通知を行うことで未接種での年齢超過を防ぐ。翻訳機を利用して説明を行う。	
43 東久留米市	90.1									
44 武蔵村山市	96.0									
45 多摩市	93.0							新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え	①感染症予防の観点から、期間内に接種するように案内している。	
46 稲城市	87.8							対策なし	①令和3年度実績 接種率99%だが、特段の工夫はしていない。	
47 羽村市	87.2								⑥個別通知の他に、市の広報に年2回予防接種に関する記事を掲載しているのと、市公式サイトでは年間を通じて案内をしている。 市の広報は、全戸配布しているものの読まない方は読まないで、周知の効果としては低いと感じている。	
48 あきる野市	89.4									
49 西東京市	91.0							新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え	①新型コロナウイルス感染症の感染を避けるため、接種を控える保護者が一定数存在すると思われる。	①コロナ禍でも接種を控えないう促すちらしを配布

区市町村名	接種率	達成の要因または課題							⑪その他	課題の背景、独自の取組等	備考
		①個別通知の時期・回数	②個別通知の内容	③個別通知の手段	④その他情報発信の時期・回数	⑤その他情報発信の内容	⑥その他情報発信の手段	⑦接種日・時間の拡大			
50 瑞穂町	96.4				○					④生後2か月児に各予診票を冊子の形で個別送付しており、対象者(1歳になる前月末)に接種勧奨はがきを送付した。	
51 日の出町	90.5										
52 檜原村	87.5										
53 奥多摩町	77.8										
54 大島町	85.1							○ 何らかの理由で接種を希望しない者	⑪ワクチン接種に否定的な世帯があると、分母が小さいので接種率が大幅に下がる。		
55 利島村	-										
56 新島村	75.0										
57 神津島村	100.0										
58 三宅村	100.0										
59 御蔵島村	100.0										
60 八丈町	110.5										
61 青ヶ島村	-	○								⑪人口、対象者が少ないため全数面談により勧奨しているため	
62 小笠原村	93.8										
合計		2	1	3	1	1	5	0	12		
同系統の項目計		6			7			0	12		

課題：

- ・新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え

対応策：

- ・未接種者への個別接種勧奨
- ・1歳半健診や各種相談事業等の機会を用いた接種勧奨
- ・区内のすべての就学前教育施設（保育施設）に啓発チラシを配布し、MRの期限内接種と、打ちそびれた場合の任意接種公費負担について周知
- ・スマートフォンの予防接種アプリを改良し、スケジューラ機能のほかに予診票再発行機能を導入

第1期接種率95%達成の要因または達成の課題

⑧国内転入者への取組

区市町村名	接種率	国内転入者への取組	課題の背景、独自の取組等	年間転入者数	転入時に接種記録確認している場合の方法	転入時に接種記録を確認できない理由
1 千代田区	92.0	○	転入手続きの際に、未接種の予防接種について予防接種担当に問い合わせるよう案内している。 一定の月齢については、システムで転入者を抽出している。	57	母子手帳に記載のある接種記録を確認している。	転入前に接種済みである場合、転入者として抽出されず、転入後も問い合わせ等が無い場合が考えられる。
2 中央区	93.9	○	接種履歴がない対象年齢者すべてに予診票を送付している。	不明		
3 港区	90.8	○	転入の事務処理を行っている窓口部門へ、転入者向けの母子保健・予防接種事業のチラシ配布を依頼して、直接予防接種担当へ連絡をするように促しているが、接種済の記録の入手が困難。このため、予診票の追加発行を希望される方には母子手帳や予防接種記録提出も依頼している。	30		住基窓口に予防接種担当が不在。母子手帳を持参して異動手続きをする世帯主は希なため。
4 新宿区	95.7	○	転入者に対して予防接種のご案内の手紙を送付(毎月)	711		転入を受け付ける窓口が異なるため
5 文京区	95.5	○	転入者の予防接種対象者の接種状況については窓口申請もしくは電子申請があった場合に予診票を発行している。未接種の方で転入の際に手続きを提出しない場合については予診票を渡すことができておらず課題となっている。 転入者の予防接種記録の確認については、住民記録担当課→予防接種担当へと案内してもらっている。	-	母子健康手帳で確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
6 台東区	93.3	○	他の子育て関連の手続きでかなり時間がかかってしまったり、区民事務所等本庁舎以外での転入手続きをされた方へは案内されなかつたりと、予防接種担当までたどり着かないかたが一定数いることが課題である。	約80	母子手帳で確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
7 墨田区	96.6	○	転入手続きを本庁舎で行った場合はワンストップで対応可能となるが、出先機関(出張所など)で手続きを行った場合には改めて区役所に来庁いただくかデジタル申請で行う形となるため予診票を受け渡すタイミングが遅れてしまう。 接種期限の前々月に未接種者へハガキにて個別周知を行っていることから、接種率向上につながっていると考えられる。	90	母子手帳で確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
8 江東区	89.7	○	その他、スマホアプリでの通知や区報による周知など、多角的な働きが接種率向上につながっていると考えられる。	不明	母子手帳等の確認	-
9 品川区	94.4	○	転入者に予防接種対象者がいた場合、予防接種窓口へ行ってもらう案内チラシを直接配布している。	不明	母子手帳で確認	-
10 目黒区	94.1	○	転入者は、個別に接種記録の確認が必要であるため、保護者の連絡(窓口、電話、電子申請)により予診票を発行している。	不明	母子健康手帳で確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため
11 大田区	95.4	○	転入届を受け付けている部署には定期接種対象者の場合、予診票を交付している保健所を案内するようにしている。また、転入者のうち6歳以下の者については転入月の翌月上旬に対象者を抽出し予防接種予診票交付の案内を行っている。	-	保健所にて予診票を交付する際に母子手帳を確認している。	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
12 世田谷区	95.1	○	特になし	600程度	-	-
13 渋谷区	93.7	○	転入届出時にチラシ(予防接種の一覧)を配付しているのみ、予診票の発行は申し出によるので全員に行き渡らず、課題である。	-	母子健康手帳を確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
14 中野区	95.4	○	転入者の予防接種対象者の接種状況については転入届受理する部署にて、子育て関係の部署に来るよう、促し、そこで交付申請書への記入を薦め、追って予診票を送付している。	不明	母子手帳	-
15 杉並区	95.2	○	転入を受け付ける窓口が異なるため、予診票の手渡しができておらず課題となっている。 転入の翌月に予診票が必要な方は予診票を取り寄せるようはがきで案内している。	361	母子手帳で確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
16 豊島区	95.6	○	予診票請求時に母子手帳を持参する場合以外、転入前の接種歴の取得が難しい。	-	予診票請求時に母子手帳を確認	-
17 北区	96.7	○	転入者へ予防接種の接種歴を確認するお尋ねを個別送付し、回答に基づき接種が必要かどうかについて予診票を個別送付している。	約120	母子手帳の確認、おたずねの回答	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
18 荒川区	95.4	○	転入届を受け付けている窓口(戸籍住民課、各区民事務所)や子育て支援課で、転入前に接種が完了していない予防接種のうち、定期接種の対象期間中であるものについては接種予診票を交付する旨のチラシを配付している。	-	-	-
19 板橋区	93.5	○	転入者は母子手帳をもって区内の健康福祉センターを案内し、記録の確認と必要な予診票の交付を行う。 全自治体の接種情報が自動で反映されると誤解されたままの方より、後から問い合わせがあることもあり、よりわかりやすい案内を都度検討する必要があると認識している。	未集計	母子手帳で確認	母子手帳の紛失等
20 練馬区	91.1	○	転入時、区民事務所より転入者向け予防接種案内を配布している。	不明	母子手帳を確認	-
21 足立区	90.9	○	転入者の予防接種対象者の接種状況については、転入届受理する部署で各保健センター及び保健予防課にて手続きが必要である旨案内している。転入者の予診票発行は、窓口の他、郵送による申請でも受け付けている。	1128	母子健康手帳で確認	手続きにお越しにならない方がいる
22 葛飾区	93.5	○	保護者から予診票の発行依頼等があった際にMRの接種歴を母子手帳から確認しているが、保護者から依頼が無い場合は接種歴を把握することができない。転入手続きの窓口で転入者向けのお知らせを配布し、予診票発行の案内をしている。 MR1期を逃している場合は、区単独の任意予防接種でフォローしている。	把握していない		転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なること、予診票発行ができる窓口が出先機関となることから、連携に課題がある
23 江戸川区	97.5	○	1歳の初旬に対象者に個別通知を出しており、その後の転入者にもはがきを送付している。一方で、前住所での接種履歴については把握していない、接種率等に反映できていないという課題もある。	3600程度		転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため。
24 八王子市	98.1	○	特になし	把握していない		
25 立川市	92.6	○	転入の翌月にをお知らせを郵送。接種履歴確認依頼と同時に予診票発行申請を促す。	1200	母子手帳または聞き取り	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある 市民課や市政センターでは接種記録の確認を実施しておらず、健康課及び子ども家庭支援センターにて転入面接を受けた場合と、自発的に予診票の申請をしてきた場合にしか確認できない。
26 武蔵野市	94.3	○	予診票発行時に必ず接種記録を確認するようにしているが、手続きにこない方については確認の手段がなく課題となっている。	170	母子健康手帳で確認	
27 三鷹市	92.9	○	転入手続き時に提出してもらう書類(右記に記載の連絡票)の提出がないと、転入者の接種状況の把握ができず、必要な方予診票を送付できないケースがあることが課題。	不明	転入手続き窓口で渡す書類(連絡票:転入前の接種状況を記入するもの)を提出してもらい、その内容で確認	連絡票を提出してもらえなかった場合は確認できない
28 青梅市	107.9	○	転入者の予防接種対象者の接種状況については転入届受理する(市民課)から予診票発行する部署(健康課)へ行ってもらうよう案内し、健康課で母子手帳を確認して、その時点で接種が可能である予防接種の予診票を手渡す方法をとっているが、健康課窓口に来ないケースがまれにあり、接種履歴の把握ができないことがある。 なお、予診票の発行は接種タイミングが近づいた時期にその都度送付する形をとっているため、1歳になる前に青梅市に転入さえしていればMR第1期の予診票は対象者に送付されるようにはなっている。	不明	母子手帳を確認	転入を受け付ける窓口と接種記録を確認する窓口(建物)が異なり、保護者が面倒になり手続きにこないことがある。
29 府中市	95.6	○	転入者の予防接種対象者については転入届受理後、乳児医療証を担当する部署で、予防接種予診票の入手方法を記載した案内を配布している。接種の開始時期が近づいたら予診票を一斉発送しているため、一斉発送の対象時期を過ぎている場合は、当課の窓口にて予診票を手渡すか個別に郵送、または医療機関に予備があればそちらを使用してもらっている。	不明	母子健康手帳	母子健康手帳を未持参
30 昭島市	95.5	○	転入時、子ども子育て支援担当部署より予診票交付申請書を配布し、申請いただいた方は、7歳半までの定期予防接種予診票を送付している。	150~200程度	母子健康手帳か予防接種予診票交付申請書	母子健康手帳を紛失した等
31 調布市	92.3	○	毎月の定例発送の抽出日において把握できなかった転入者については、別途抽出し、個別発送。	49	母子手帳で確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため

区市町村名	接種率	国内転入者への取組	課題の背景、独自の取組等	年間転入者数	転入時に接種記録確認している場合の方法	転入時に接種記録を確認できない理由
32 町田市	91.2	○	該当年齢の転入者全員に対し、転入日の翌月に個別通知を送付	350程度	-	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため
33 小金井市	89.8	○	転入届提出時に予防接種の接種記録を確認し、未接種者へ予診票及び案内を送付している	不明	はがき、窓口	-
34 小平市	98.3	○	転入届受理する部署で、予防接種の交付申請書を渡している。申請がない限り、予診票の渡す術がない。	-	-	-
35 日野市	95.5	○	毎月の通知発送後の転入者は把握しておらず課題となっている	把握していない	-	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
36 東村山市	83.3	○	転入手続き時に母子手帳を所持しておらず、予防接種にかかる転入手続きが遅れるケースがある。	70程度	母子手帳の写しを取る	母子手帳を持参していない
37 国分寺市	96.1	○	転入者の把握が難しいため、市民課で転入者向けに予防接種のチラシを渡してもらっているが、手続きをせずに帰ってしまう人がいる。	141	母子手帳で確認	母子手帳を持っていない
38 国立市	86.2	○	転入者には転入の手続きの後、子育て支援部署への案内を行っており、必要な周知は行っている。一方で、窓口時間外の転入手続きや転入届を提出しない方、郵送で提出の方、などで提出の方に関しては子育て支援施策の周知が充分に行われない可能性があり課題となっている。	約60	していない	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
39 福生市	89.5	○	はがきによる個別通知(予診票は保健センターにて母子手帳を確認の上手渡し)	約24	来庁時に母子手帳・接種記録にて確認(来庁しない方は確認していない)	転入届出部署(市役所本庁舎)と建物が別
40 狛江市	95.6	○	転入者には、転入届受理する部署にて、担当部署へ連絡もらえるようチラシを渡している。	27程度	母子手帳	-
41 東大和市	95.6	○	転入手続きの主管課にて、予防接種対象の年齢の子がいる場合に、予防接種担当課に行くよう案内をしている。予防接種主管課では、母子手帳等でこれまでの接種歴を確認し、接種可能なワクチンの予診票を発行している。また、転入者を含め当市に接種記録がない場合は勧奨通知を送付している。	-	母子手帳	-
42 清瀬市	99.2	○	転入者については、同課の助成係(子の医療券発行部署)の手続きと同時に予防接種担当窓口にご案内頂くことを徹底して頂いている。立ち寄りが無い場合、保護者の電話番号を確認し、直接保護者に電話をして来庁を促す。また、対象者に未接種勧奨個別通知を行うことで未接種での年齢超過を防ぐ。	63	母子健康手帳で確認	保護者に前の市区町村に接種履歴を確認してもらう。
43 東久留米市	90.1	○	転入手続きをした1歳児には、転入の翌月初に予診票を個別通知している	50程度	していない	転入を受け付ける窓口が異なるため
44 武蔵村山市	96.0	○	転入者へ通知を送付し、母子健康手帳を持参していただき最新の接種履歴の把握に努めているが、窓口に来られない方には予診票の手渡しができず課題となっている。	麻しん風しん対象者で把握していない	母子健康手帳で確認	転入を受け付ける窓口と場所が離れているため、連携に課題がある
45 多摩市	93.0	○	毎月、個別通知の未発送者を抽出して、個別通知を送付している。	-	口頭、母子健康手帳の接種履歴	接種後、すぐに接種記録に反映されていない 転入届を受理する部署ではそこまでしていない。
46 稲城市	87.8	○	保護者から依頼書の希望があれば渡している。(母子手帳確認後)	約40	-	-
47 羽村市	87.2	○	転入者へは、転入届を受理する部署で、必要な手続き(一覧表)について案内している。多くの方はそれを確認し、予診票の受け取りに来所されるが、来所されない方については、集団健診等の機会でもないとこちらから予診票をお渡しすることができない。	-	-	-
48 あきる野市	89.4	○	転入届を提出した翌月に予防接種履歴に係る調査票を個別送付。回答に基づき予診票を送付。	-	予防接種記録に係る調査票を対象者へ送付。	調査に対する回答がない場合
49 西東京市	91.0	○	①転入者に対し、市民課での手続き時に渡す手続き一覧に、予診票発行申請を促す案内を掲載している。 ②予防接種対象者に対し、予診票発行申請を促す個別通知を送付している。	約1050	-	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
50 瑞穂町	96.4	○	接種記録の確認を行う際に、未接種の場合は予診票を渡し接種勧奨している。	83	母子手帳の写しの提出	調査票の提出または母子手帳の写しの提出 転入と接種記録の確認の部署が異なるため
51 日の出町	90.5	○	関係課との連携が重要	5	転入所窓口にて、保健センター窓口を案内し母子手帳を確認	-
52 檜原村	87.5	○	スローライフを目指して転入される方が多く、予防接種を行わない考えの方が多い。接種の必要性等を健診機会等を活用して伝えている。	4	児童手当等のために来所した際に母子手帳を確認。	-
53 奥多摩町	77.8	○	転入があると電算室から通知がありそれに基づいて訪問で勧奨していた。	2	母子健康手帳で確認	-
54 大島町	85.1	○	転入時、予防接種担当課へ案内してもらい、母子手帳のコピーをとる。その場で予診票を手渡しするか、または後日郵送をする。	10	母子手帳	担当課へ連絡がないとき
55 利島村	-	○	転入者は、母子手帳を確認し接種漏れが内容に取り組んでいる	5	転入後に連絡し、母子手帳のコピーをさせていただく	-
56 新島村	75.0	○		1	対象児の母子健康手帳の予防接種の記録を保健師が確認している。	-
57 神津島村	100.0	○	特に課題無し	未就学児は10名未満	未就学児は保健センターにて保健師と保護者が面談、その際母子手帳を提示・接種履歴を確認	該当事業無し
58 三宅村	100.0	○		19	転入時に渡す「予防接種調査票」により確認。	-
59 御蔵島村	100.0	○	特に無し	0~1	母子手帳により確認している	-
60 八丈町	110.5	○	転入者の予防接種対象者の接種状況については転入届受理する部署と連携し、履歴確認。確認が取れていない転入者については後日、郵送にて履歴確認通知を送っている。	1~5	母子手帳確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
61 青ヶ島村	-	○		ほぼ0多くて2-3名	保健師面談	-
62 小笠原村	93.8	○	転入者の予防接種の実施状況については面接を実施し、母子手帳にて確認している。	0~数名程度	母子手帳	現在、全数確認できている
合計	62					

課題：

- ・転入を受け付ける窓口と予防接種を所管する窓口(部署)が異なるため、連携が不十分

対応策：

- ・転入届を受け付けている部署から、予防接種を所管する部署の窓口または予診票を交付している保健所等を案内
- ・転入者のうち6歳以下の者については、転入月の翌月上旬に対象者を抽出し予防接種予診票交付の案内を実施
- ・転入者へ予防接種の接種履歴を確認するお尋ねを個別送付し、回答に基づき接種が必要なワクチンについて予診票を個別送付

第1期接種率95%達成の要因または達成の課題

⑨海外出生者の転入への取組

区市町村名	接種率	海外出生者の転入への取組	課題の背景、独自の取組等	年間転入者数	転入時に接種記録確認している場合の方法	転入時に接種記録を確認できない理由
1 千代田区	92.0	○	転入手続きの際に、未接種の予防接種について予防接種担当に問い合わせるよう案内している。 一定の月齢については、システムで転入者を抽出している。	8	出生時に日本にいた場合は母子手帳の接種記録と合わせて、海外での接種記録等を確認する。	転入前に接種済みである場合、転入者として抽出されず、転入後も問い合わせ等が無い場合が考えられる。
2 中央区	93.9	○	接種履歴がない対象年齢者すべてに予診票を送付している。	不明		
3 港区	90.8	○	転入の事務処理を行っている窓口部門へ、転入者向けの母子保健・予防接種事業のチラシ配布を依頼して、直接予防接種担当へ連絡をするように促しているが、接種済の記録の入手が困難。このため、予診票の追加発行を希望される方には母子手帳や予防接種記録提出も依頼している。	15		住基窓口に予防接種担当が不在。 母子手帳を持参して異動手続をする世帯主は希なため。
4 新宿区	95.7	○	転入者に対して予防接種のご案内の手紙を送付(毎月) 転入者を含む未接種者に対して動奨ハガキ(英語併記)を送付(7月、1月)	711		転入を受け付ける窓口が異なるため
5 文京区	95.5	○	接種状況が記載された書類を持参していただく場合が多く、的確に接種状況を把握することができた。	-		母子健康手帳または現地医療機関等が発行した接種記録等で確認
6 台東区	93.3	○	母子手帳がない方には、口頭や海外での接種記録で接種状況を把握している。海外で接種した海外製のワクチンを統計に入れることができないため、接種率低下の一因となっている。	約80	現地医療機関等が発行した接種記録等	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
7 墨田区	96.6	○	母子手帳がない方には、口頭または接種記録を確認できる書類等で接種状況を把握している。海外で接種した海外製のワクチンが統計に入れることができないため、接種率低下の一因となっている。	不明	現地医療機関等が発行した接種記録等	接種記録がない場合や、あっても文字の判別が付かない場合がある
8 江東区	89.7	○	問い合わせがあれば、海外での接種履歴を確認し、必要に応じて保護者や医師が判断するよう促している。	不明	母子手帳等の確認	-
9 品川区	94.4	○	母子手帳がない場合は、海外で発行された接種記録で接種状況を職員が確認している。海外で接種した海外製のワクチンが統計に入れることができないため、接種率低下の一因となっている。	不明	海外での接種記録	-
10 目黒区	94.1	○	転入者は、個別に接種記録の確認が必要であるため、保護者の連絡(窓口、電話、電子申請)により予診票を発行している。		海外での接種記録(医療機関等発行)で確認	接種記録を持参しない例はほとんどない
11 大田区	95.4	○	転入届を受け付けている部署には定期接種対象者の場合、予診票を交付している保健所を案内するようにしている。また、転入者のうち6歳以下の者については転入月の翌月上旬に対象者を抽出し予防接種予診票交付の案内を行っている。 母子手帳等の接種記録が無い方については、申請者の希望を確認したうえで、記録の無い方については未接種扱い都市予診票を交付している。	-	保健所にて予診票を交付する際に母子手帳を確認している。	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
12 世田谷区	95.1	○	特になし	不明		
13 渋谷区	93.7	○	転入届出時にチラシ(予防接種の一覧)を配付しているのみ、予診票の発行は申し出によるので全員に行き渡らず、課題である。	-	現地医療機関等が発行した接種記録等	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
14 中野区	95.4	○	転入者の予防接種対象者の接種状況については転入届受理する部署にて、子育て関係の部署に来るよう、促し、そこで交付申請書への記入を薦め、追って予診票を送付している。	不明	母子手帳	-
15 杉並区	95.2	○	母子手帳がない方には、口頭で接種状況を把握している。	26	現地医療機関等が発行した接種記録等	そういった書類を保管しているケースはまれなため、口頭で確認する場合はほとんど
16 豊島区	95.6	○	予診票請求時に母子手帳を持参する場合以外、転入前の接種履歴の取得が難しい。	-	予診票請求時に母子手帳を確認	-
17 北区	96.7	○	転入者へ予防接種の接種履歴を確認するお尋ねを個別送付し、回答に基づき接種が必要なワクチンについて予診票を個別送付している。	約10	現地医療機関等が発行した接種記録等	-
18 荒川区	95.4	○	転入届を受け付けている窓口(戸籍住民課、各区民事務所)や子育て支援課で、転入前に接種が完了していない予防接種のうち、定期接種の対象期間中であるものについては接種予診票を交付する旨のチラシを配付している。	-		-
19 板橋区	93.5	○	母子手帳等をもとに可能な限りの確認を行った後、必要な予診票を発行するが、日本語が不得手な方の場合には予防接種の手続きが必要なことを認識できない可能性もあること等に留意した丁寧な対応が課題と認識している。	未集計	現地の接種記録等	記録の分かるものをそもそも持参せずに入国した場合
20 練馬区	91.1	○	転入区、区民事務所より転入者向け予防接種案内を配布している。	不明	母子手帳を確認	-
21 足立区	90.9	○	現地母子健康手帳で接種履歴を確認及び取得のうえ、必要な予診票を発行している。すでに接種履歴がある場合は、日本で同ワクチンの接種を希望するかの意思確認も行ったうえで対応している。	1128	現地の予防接種手帳等記録で確認	手続きにお越しにならない方がいる
22 葛飾区	93.5	○	保護者から予診票の発行依頼等があった際に、海外でのMRの接種履歴を証明書や母子手帳から確認しているが、保護者から依頼が無い場合は接種履歴を把握することができない。転入手続きの窓口で転入者向けのお知らせを配布し、予診票発行の案内をしている。 MR1期を逃している場合は、区単独の任意予防接種でフォローしている。	把握していない		転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なること、予診票発行ができる窓口が出先機関となることから、連携に課題がある
23 江戸川区	97.5	○	1歳の初旬に対象者に個別通知を出しており、その後の転入者にはもがきを送付している。一方で、海外での接種履歴については把握してなく、接種率等に反映できていないという課題もある。	180程度		転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため。
24 八王子市	98.1	○	特になし	把握していない		
25 立川市	92.6	○	転入の翌月にお知らせを郵送。接種履歴確認依頼と同時に予診票発行申請を促す。		母子手帳または聞き取り	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
26 武蔵野市	94.3	○	予診票発行時に必ず接種記録を確認するようにしているが、手続きに来ない方については確認の手段がなく課題となっている。	12	母子健康手帳又は現地で発行された接種記録等	市民課や市政センターでは接種記録の確認を実施しておらず、健康課及び子ども家庭支援センターにて転入面接を受けた場合と、自発的に予診票の申請をしてきた場合にしか確認できない。
27 三鷹市	92.9	○	転入手続き時に提出してもらった書類(右記に記載の連絡票)の提出がないと、転入者の接種状況の把握ができず、必要な方に予診票を送付できないケースがあることが課題。	不明	転入手続き窓口で渡す書類(連絡票:転入前の接種状況を記入するもの)を提出してもらい、その内容で確認	連絡票を提出してもらえなかった場合は確認できない
28 青梅市	107.9	○	海外出生者(接種者)については、現地で接種した証明等で接種履歴を確認するが、タイミング次第ですでにMR1期に相当する接種を完了していることがあり、これを統計に計上できないため、少なからず接種率の低下にはつながってしまっている。	不明	現地医療機関等が発行した接種記録等を確認	海外での接種履歴を紛失してしまっているケースがまれにある。
29 府中市	95.6	○	転入者の予防接種対象者については転入届受理後、乳児医療証を担当する部署で、予防接種予診票の入手法を記載した案内を配布している。接種の開始時期が近づいたら予診票を一斉発送しているため、一斉発送の対象時期を過ぎている場合は、当課の窓口にて予診票を手渡すか個別に郵送、または医療機関に予備があればこちらを使用してもらっている。	不明	母子健康手帳や現地医療機関等が発行した接種記録等	母子健康手帳や接種記録が確認できる書類を未所持

区市町村名	接種率	海外出生者の転入への取組	課題の背景、独自の取組等	年間転入者数	転入時に接種記録確認している場合の方法	転入時に接種記録を確認できない理由
30 昭島市	95.5	○	転入時、子ども子育て支援担当部署より予診票交付申請書を配布し、申請いただいた方には、7歳半までの定期予防接種予診票を送付している。	10程度	母子健康手帳か予防接種予診票交付申請書	国によって、接種記録を残していない等
31 調布市	92.3	○	母子手帳や接種履歴を記した書類がない方には、口頭で接種状況を把握している。	-	-	-
32 町田市	91.2	○	該当年齢の転入者全員に対し、転入日の翌月に個別通知を送付	10程度	-	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため
33 小金井市	89.8	○	転入届提出時に予防接種の接種記録を確認し、未接種者へ予診票及び案内を送付している	不明	はがき、窓口	-
34 小平市	98.3	○	転入届受理する部署で、予防接種の交付申請書を渡している。申請がない限り、予診票の渡す術がない。	-	-	-
35 日野市	95.5	○	転入者は把握しておらず課題となっている	把握していない	-	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
36 東村山市	83.3	○	母子手帳がない方には、口頭で接種状況を把握している。	10程度	母子手帳または接種記録の写しを取る	母子手帳または接種記録を持参していない
37 国分寺市	96.1	○	転入者の把握が難しいため、市民課で転入者向けに予防接種のチラシを渡してもらっているが、健康推進課が先にあるため、転入届の手続きと同じ建物では手続きができず、忘れてしまう人がいる。	141	母子手帳が海外で発行された接種履歴のわかる書類で確認	母子手帳や海外で発行された接種履歴のわかる書類を持っていない
38 国立市	86.2	○	海外で接種した海外製のワクチンは統計に入れることができないため、接種率低下の要因となっている。	10未満	していない	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
39 福生市	89.5	○	はがきによる個別通知(予診票は保健センターにて母子手帳を確認の上手渡し)	不明	来庁時に母子手帳・接種記録にて確認(来庁しない方は確認していない)	転入届出部署(市役所本庁舎)と建物が別
40 狛江市	95.6	○	転入者には、転入届受理する部署にて、担当部署へ連絡もらえるようチラシを渡している。	不明	-	-
41 東大和市	95.6	○	転入手続きの主管課にて、予防接種対象の年齢の子がいる場合に、予防接種担当課に行くよう案内をしている。予防接種主管課では、母子手帳等で今までの接種履歴を確認し、接種可能なワクチンの予診票を発行している。また、転入者を含め当市に接種記録がない場合は勧奨通知を送付している。	不明	母子手帳や現地医療機関等が発行した接種記録等	-
42 清瀬市	99.2	○	転入者については、同課の助成係(子の医療券発行部署)の手続きと同時に予防接種担当窓口にご案内頂くことを徹底して頂いている。立ち寄りがない場合、保護者の電話番号を確認し、直接保護者に電話をして来庁を促す。また、対象者に未接種勧奨個別通知を行うことで未接種での年齢超過を防ぐ。翻訳機を利用して説明を行う。	2	母子健康手帳で確認または、現地医療機関等が発行した接種記録等	何かしらの情報(データ)がないかをまず確認していただく。
43 東久留米市	90.1	○	国外から転入手続きをした1歳児にも、転入の翌月初に予診票を個別通知している	5程度	していない	転入を受け付ける窓口が異なるため
44 武蔵村山市	96.0	○	母子健康手帳を確認し、接種履歴の把握に努めているが、海外によって種類や間隔が異なり苦慮している。	把握していない	母子健康手帳で確認	-
45 多摩市	93.0	○	毎月、個別通知の未発送者を抽出して、個別通知を送付している。	-	口頭及び接種履歴が記入されている書面	本人が接種記録を持参していない
46 稲城市	87.8	○	保護者から依頼書の希望があれば渡している。(母子手帳確認後)	不明	-	転入届を受理する部署ではそこまでしていない。
47 羽村市	87.2	○	1期と同じ。接種履歴については、母子健康手帳やそれに代わるもので確認している。お持ちでない場合は、口頭で確認している。	-	-	-
48 あきる野市	89.4	○	転入届を提出した翌月に予防接種履歴に係る調査票を個別送付。回答に基づき予診票を送付。	-	予防接種記録に係る調査票を対象者へ送付。	調査に対する回答がない場合
49 西東京市	91.0	○	①転入者に対し、市民課での手続時に渡す手続き一覧に、予診票発行申請を促す案内を掲載している。 ②予防接種対象者に対し、予診票発行申請を促す個別通知を送付している。 海外で接種した海外製のワクチンは統計に入れることができないため、接種率低下の一因となっている。	約1050	-	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
50 瑞穂町	96.4	○	接種記録の確認を行う際に、未接種の場合は予診票を渡し接種勧奨している。	83	母子手帳の写しの提出	調査票の提出または母子手帳の写しの提出 転入と接種記録の確認の部署が異なるため
51 日の出町	90.5	○	地域から転入はまれ	0	転入所窓口にて、保健センター窓口を案内し母子手帳を確認	-
52 檜原村	87.5	○	スローライフを目指して転入される方が多く、予防接種を行わない考えの方が多い。接種の必要性等を健診機会等を活用して伝えている。	-	-	-
53 奥多摩町	77.8	○	転入があると電算室から通知がありそれに基づいて訪問で勧奨することになっていた。	0	母子健康手帳で確認	-
54 大島町	85.1	○	転入時、予防接種担当課へ案内してもらい、母子手帳のコピーをとる。その場で予診票を手渡しするか、または後日郵送をする。	-	-	-
55 利島村	-	○	いない	-	-	-
56 新島村	75.0	○		0	対象児の母子健康手帳等の予防接種の記録を保健師が確認する。	-
57 神津島村	100.0	○	特に課題無し	-	-	-
58 三宅村	100.0	○		0	転入時に渡す「予防接種調査票」により確認。	-
59 御蔵島村	100.0	○	特に無し	0	前例なし	-
60 八丈町	110.5	○	特に無し	ほぼ無し	母子手帳確認	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある
61 青ヶ島村	-	○	事例なし	-	保健師面談	-
62 小笠原村	93.8	○	海外出生者に関しても面接を行い、母子手帳等で接種記録を確認している。	0~1名程度	母子手帳、現地医療機関等が発行した接種記録等	現在、全数確認できている
合計		62				

課題：

- ・転入を受け付ける窓口と予防接種を所管する窓口(部署)が異なるため、連携が不十分
- ・海外で行った予防接種の記録がない、海外製のワクチン接種歴があっても定期接種としてカウントできない

解決策：

- ・転入届を受け付けている部署から、予防接種を所管する部署の窓口または予診票を交付している保健所等を案内
- ・転入者のうち6歳以下の者については、転入月の翌月上旬に対象者を抽出し予防接種予診票交付の案内を実施
- ・転入者を含め当市に接種記録がない場合は勧奨通知を送付。

# 第1期接種率95%達成の要因または達成の課題

## ⑩外国籍の住民への対応

区市町村名	接種率	外国籍の住民への対応	課題の背景、独自の取組等
1 千代田区	92.0		
2 中央区	93.9		
3 港区	90.8	○	日本人と同様に当該時期になれば、予防票の個別送付を行っているが、大使館職員の子弟等公用外国人については、一切の案内、接種も行っていない。コロナワクチンのように直接国(外務省)から費用助成ができる仕組みとして欲しい。
4 新宿区	95.7	○	生後2か月前の予防票送付時、英語の予防接種スケジュール例を同封している。
5 文京区	95.5		
6 台東区	93.3		
7 墨田区	96.6		
8 江東区	89.7		
9 品川区	94.4	○	日本語でのコミュニケーションができない方は、翻訳タブレットを活用して窓口対応している。ちらし等は英語版を独自に作成しており、英語の読みが難しい場合は予防接種リサーチセンターが提供している外国語の予防接種の手引や予防票( <a href="https://www.yoboseshu-rc.com/pages/8/">https://www.yoboseshu-rc.com/pages/8/</a> )を活用している
10 目黒区	94.1		
11 大田区	95.4		
12 世田谷区	95.1	○	世田谷区のホームページに「予防接種リサーチセンター」のリンクを貼り、外国語の予防接種の手引や予防票を活用している。
13 渋谷区	93.7	○	予防票など各書類の外国語表記をしておらず、案内が不十分であり課題である。
14 中野区	95.4		
15 杉並区	95.2	○	言語の壁により予防接種の案内ができない方がおり、課題である。
16 豊島区	95.6	○	予防票請求時に母子手帳を持参する場合以外、転入前の接種歴の取得が難しい。
17 北区	96.7	○	日本語、英語ともに読み書きが困難なため予防接種の案内ができない方がおり、課題である。
18 荒川区	95.4		
19 板橋区	93.5		
20 練馬区	91.1		
21 足立区	90.9		
22 葛飾区	93.5		
23 江戸川区	97.5	○	上記の転入者に送付するはがきには、多言語対応のアプリの案内を掲載している。
24 八王子市	98.1		
25 立川市	92.6		
26 武蔵野市	94.3		
27 三鷹市	92.9	○	日本語、英語ともに読み書きが困難なため予防接種の案内ができない方がおり、課題である。 翻訳機能のあるタブレットを活用して説明を行ったり、予防接種リサーチセンターが提供している外国語の予防接種の手引きを渡すなどして可能な範囲で対応している。
28 青梅市	107.9	○	日本語での読み書きが困難な者も多く、窓口に来所してもらえれば予防接種リサーチセンターが提供している外国語の予防接種の手引や予防票( <a href="https://www.yoboseshu-rc.com/pages/8/">https://www.yoboseshu-rc.com/pages/8/</a> )や翻訳アプリ等を利用し、接種につなげられるよう対応しているが、窓口に来られないケースについては把握ができないため、接種率低下の一因になってしまう可能性もあると考えられる。
29 府中市	95.6	○	予防接種モバイルサービスは外国語に対応するため、英語・韓国語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)等の翻訳機能を搭載している。
30 昭島市	95.5		
31 調布市	92.3		
32 町田市	91.2		
33 小金井市	89.8		
34 小平市	98.3		
35 日野市	95.5		
36 東村山市	83.3		
37 国分寺市	96.1	○	国籍関係なく住民には、同じように個別通知を送付している。
38 国立市	86.2		
39 福生市	89.5	○	タブレットによる通訳・外国語版予防票にて対応
40 狛江市	95.6	○	住民票がある方へは予防票を個別送付。読み書きが困難な方がおり、課題である。
41 東大和市	95.6		
42 清瀬市	99.2	○	転入者については、同課の助成係(子の医療券発行部署)の手続きと同時に予防接種担当窓口にご案内頂くことを徹底して頂いている。立ち寄りがない場合、保護者の電話番号を確認し、直接保護者に電話をして来庁を促す。また、対象者に未接種勧奨個別通知を行うことで未接種での年齢超過を防ぐ。翻訳機を利用して説明を行う。
43 東久留米市	90.1	○	外国籍の転入した1歳児にも、転入の翌月初に予防票を個別通知している
44 武蔵村山市	96.0		
45 多摩市	93.0		
46 稲城市	87.8		
47 羽村市	87.2	○	外国語版母子健康手帳や、予防接種リサーチセンターが提供している外国語の予防票を活用している。できるだけ日本語がわかる方と手続きや接種に行くようお伝えしている。
48 あきる野市	89.4		
49 西東京市	91.0		
50 瑞穂町	96.4	○	該当者なし
51 日の出町	90.5	○	地域から転入はまれ
52 檜原村	87.5		
53 奥多摩町	77.8		
54 大島町	85.1		
55 利島村	-		
56 新島村	75.0		
57 神津島村	100.0		
58 三宅村	100.0		
59 御蔵島村	100.0		
60 八丈町	110.5		
61 青ヶ島村	-		
62 小笠原村	93.8		
合計	20		

### 課題：

- ・日本語、英語ともに読み書きが困難な方への対応が不十分
- ・予防票など各書類の外国語表記をしておらず、案内が不十分

### 解決策：

- ・翻訳機能のあるタブレットや予防接種モバイルサービス、予防接種リサーチセンターが提供している外国語の予防接種の手引きを活用
- ・予防票送付時、他言語で記載した予防接種スケジュール例を同封